

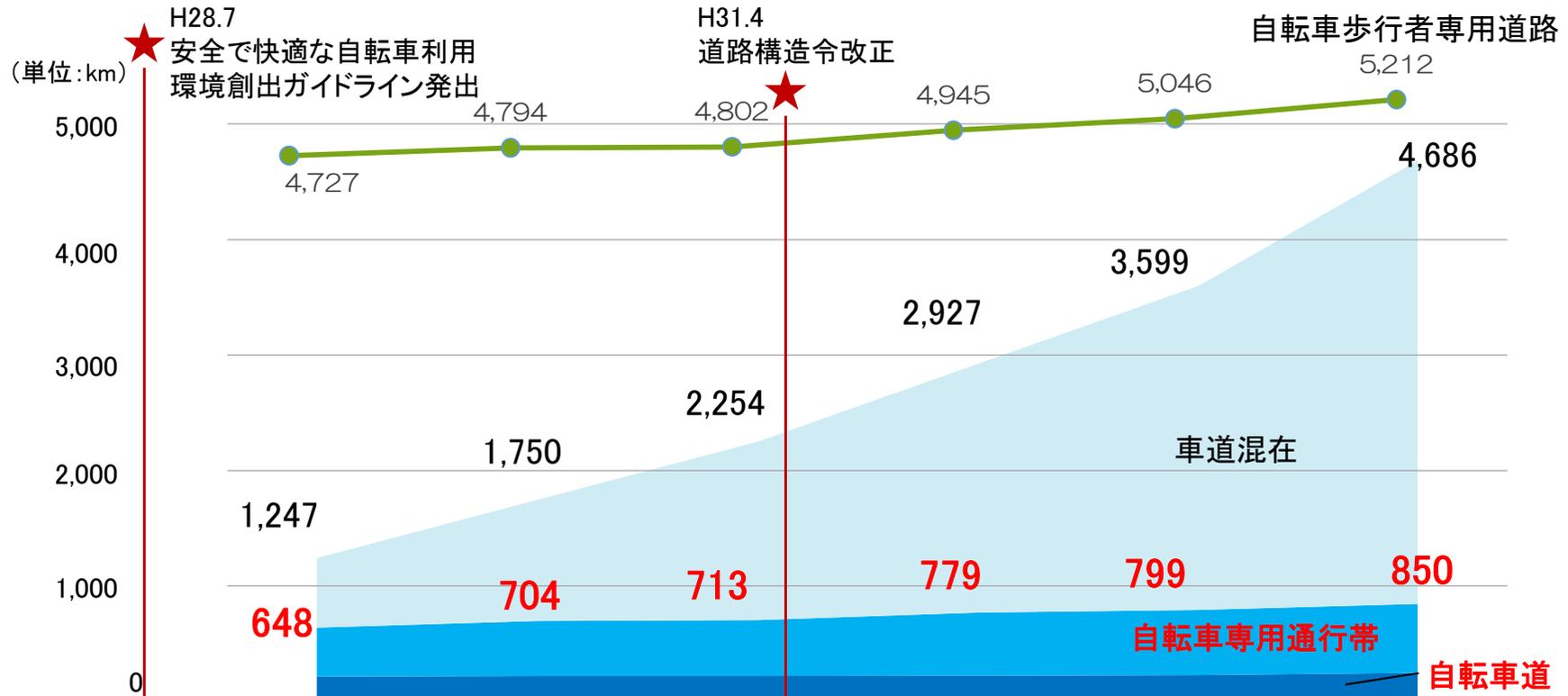
通行空間の現状について



自転車通行空間整備延長の推移



- 車道走行を基本とした自転車通行空間は、全国で4,686km。
- うち、矢羽根型路面表示等による車道混在の整備が大半。(3,836km、81.9%)
自転車道(256km、5.5%)、自転車専用通行帯(594km、12.6%)の整備は微増。



	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3) ^{※1}
車道混在	599	1,046	1,541	2,149	2,800	3,836
自転車専用通行帯	423	474	483	545	560	594
自転車道 ^{※2}	225	230	230	234	239	256
小計	648	704	713	779	799	850
合計	1,247	1,750	2,254	2,927	3,599	4,686
自転車歩行者専用道路	4,727	4,794	4,802	4,945	5,046	5,212

※1:R3は速報値
 ※2:自転車専用道路を含む

自転車通行空間の国際比較



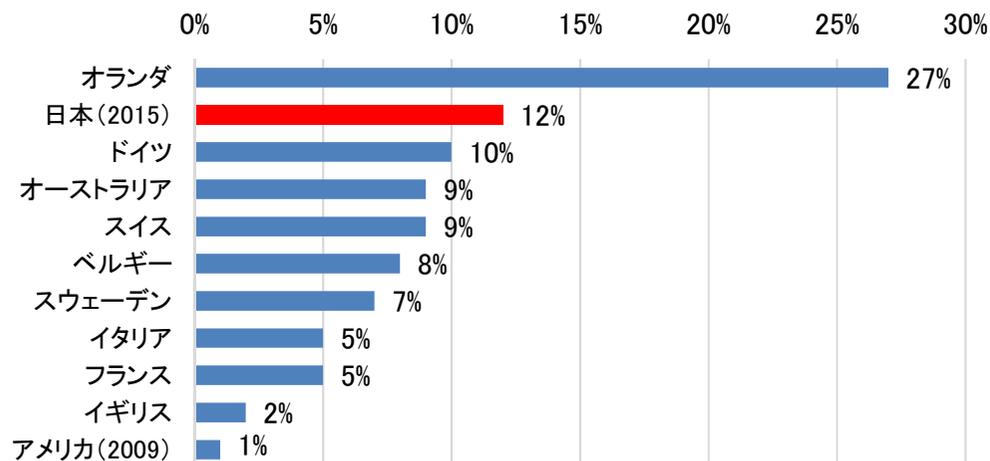
- 自転車通行空間の延長は、諸外国の都市と比較すると低水準。
- 他方、自転車分担率は、諸外国の先進都市の中でも上位。

■ 海外の都市との比較



※コペンハーゲン(2021)、東京23区(2021)は、道路延長(自転車通行可の歩道は除く)
 パリ(2021)、アムステルダム(2020)、ミュンヘン(2020)、ニューヨーク(2018)は、施設延長

■ 海外主要国の自転車の分担率(全目的)



【出典: Cycling in the Netherlands(欧州)2009、平成27年全国PT(日本)、
 全米世帯トリップ調査(アメリカ)2009より作成】

諸外国の自転車通行空間の整備形態例



○ 諸外国の整備形態では、簡易な分離を行う形態などが存在する。

<日本>

整備形態	写真
自転車専用道路	
自転車道	
自転車通行帯	
車道混在	

構造的な分離

非構造的な分離
(簡易な分離含)

混在

<フランス>

整備形態	写真
Piste cyclable※1 自転車道(構造的分離)	
Voie verte※2 自転車道(緑道)	
Bande cyclable※1 自転車通行帯 (自転車レーン)	
bande dérasée de droite※2 路肩	
Vélorue※1 自転車優先道路 ※自転車優先の車道	
Traffic mixte 車道混在	

【出典: ※1 Recommandation pour les aménagements cyclables 2019, ※2 Charte Cyclable le Partage de l'espace 2019】

<イギリス>

整備形態	写真
Fully Kerbed Cycle Track※3 縁石で完全分離	
Stepped Cycle Track※3 段差により分離	
Light Segregation※3 自転車専用通行帯 (簡易分離あり)	
Cycle Lane (mandatory/advisory) ※3 自転車専用通行帯 自転車通行帯 (簡易分離無し)	
Mixed Traffic 車道混在	

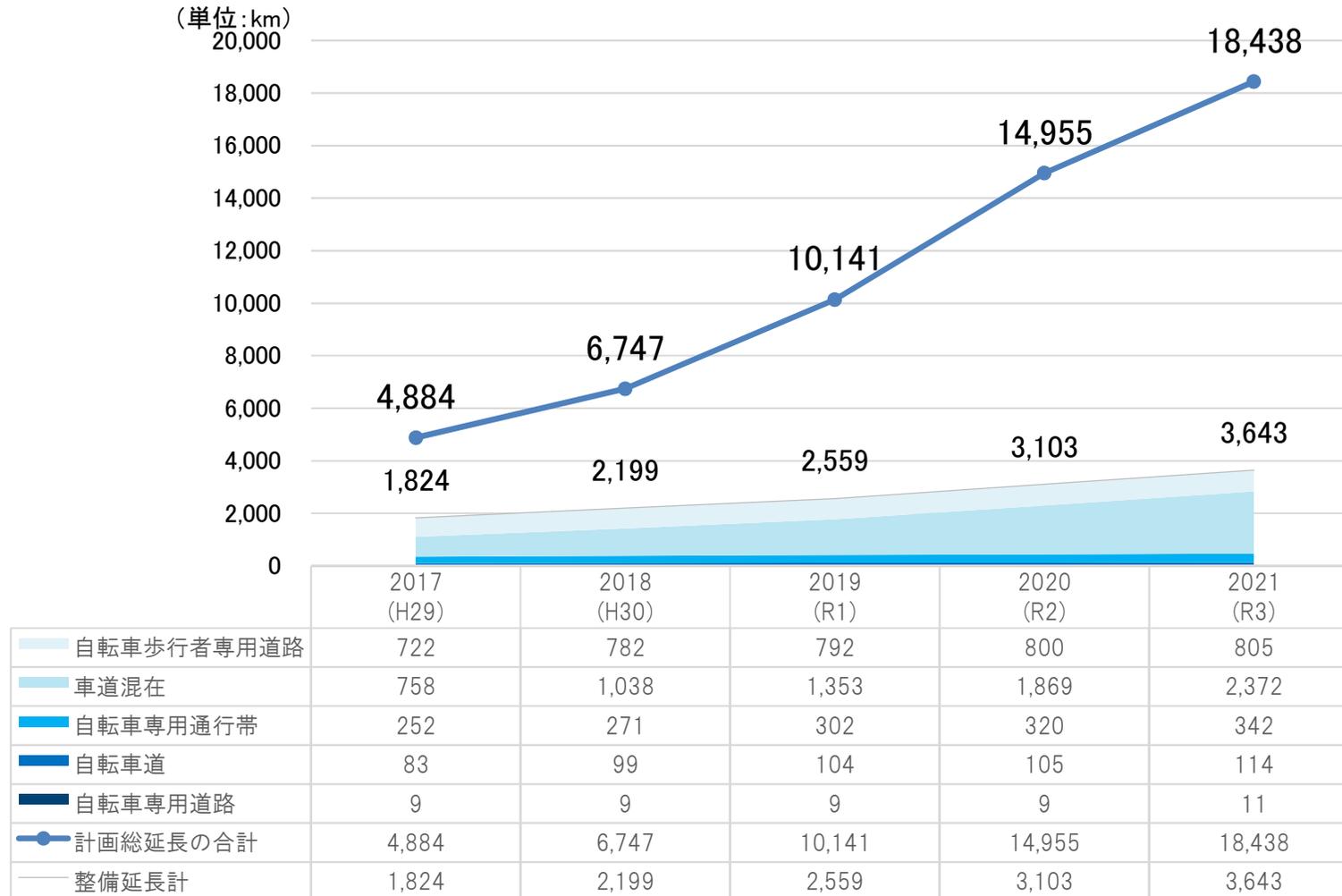
【出典: ※3 Cycle Infrastructure Design(Local Transport Note 1/20) 2020】

自転車ネットワーク計画に対する進捗状況



- H28ガイドライン改定以降、計画策定は進み、**自転車ネットワークの計画総延長は18,000kmを超える。**
- 一方、**自転車ネットワーク計画に位置付けられた自転車通行空間の整備済延長は3,600km程度に留まり、うち車道混在(矢羽根型路面表示)の整備が多くを占める。**

■ネットワーク計画延長と整備延長の推移



計画延長は、令和3年度末現在に有効な自転車ネットワーク計画の最終策定年を基準に集計
 整備延長は、計画路線のうち、令和3年度末現在の整備済区間の供用年度を基準に集計